



南行通信

~やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい~

令和7年2月5日
校長 中村 由美子

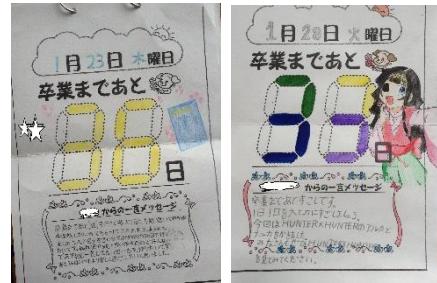


まとめの時期に入ります。

2月3日は立春、暦の上では、春を迎えます。南行徳小学校には多くの桜の木があり、桜の芽が少しずつふくらみ春の訪れを気づかせてくれます。南門の桜と正門の桜では、芽の大きさが少し違います。太陽の光がよく当たる南門の桜のほうが、ふくらみが大きいように見えます。太陽光の偉大を感じます。子供たちも南門の桜のようにあたたかいかかわりの中で、すくすく成長できるよう教育活動を進めていきたいと思っています。

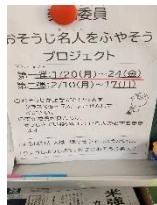
6年生の各教室に卒業までのカウントダウンカレンダーが並んでいます。カウントダウンの数字の下には、「1日1日を大切にしてたくさん思い出を作ろう」「残りの小学校生活を楽しもう」など、それぞれのメッセージが書いてあるものもあります。日々増えていくカレンダー、減っていく卒業までの日々。2月28日（金）には、「卒業を祝う会」があります。各学年が6年生の卒業を祝って発表を行います。その発表は、これまで南行徳小を支えてくれた6年生へのお礼の場でもあり、また、お互いの1年間の成長を認め合う場でもあります。送る会の進行は、これから南行徳小学校を支える4・5年生が担います。

一人一人がそれぞれの成長を実感できるよう、これからもまとめの時期を過ごしていきたいと思っています。今月もよろしくお願ひいたします。



学校をよりよく変えたい！

学校生活がより楽しく、より充実したものになるよう学校内の仕事を分担し、課題に自動的に取り組んでいくための活動に委員会活動があります。1月から美化委員会が「おそうじ名人をふやそうプロジェクト」を行っています。そうじが上手な名人は、放送で紹介されます。学校中をピカピカにしようと多くのおそうじ名人が誕生しています。



代表委員会は「あいさつかるた」を行いました。ペア学年の友達と「ただ一言 かわすあいさつ あたたかい」など、あいさつの良さが書かれたかるたとりを行いました。あいさつは、南行徳小学校の子供たちの自慢の一つです。かるたとりをして、さらにあいさつが上手になりました。



消防署へ行ったよ。(3年生)

1月31日、社会科の学習で市川市消防局南消防署広尾出張所へ見学に行きました。副読本「わたしたちの市川」に出てくる消防士さんからお話を聞いたり、消防車や救急車を実際に見たりしました。見学途中に消防出動の連絡が入り、消防士さんたちが出動する状況もありました。そのため、改めて、行徳出張所から応援にきて説明をしてくれました。その中の一人は、南行徳小学校を卒業した消防士さんでした。「いつも安全を見守ってくれてありがとうございます」「出動までの時間が速くてびっくりした」などの感想をお礼の手紙に書いていました。



1月28日・31日に図書委員会主催の百人一首大会を行いました。「技と心がぶつかりあう、熱狂の舞台」を百人一首大会のテーマに掲げ、12月から各学級で練習に取り組んできました。五・七・五・七・七の31音のリズムや現代語に使われていない言葉に触れる機会となりました。大会には、学級の試合で選ばれた代表が出場し、静かな中に「はい」という大きな声と札をとる音が響く白熱したものでした。